

結婚・出産・子育てに温かい社会づくり～ベビーウェーブ・アクション～

本県では、社会全体で少子化対策に取り組むため、官民一体となった県民運動の推進母体である「脱少子化ウェーブを巻き起こす行動県民会議(ベビーウェーブ・アクション)」を中心として、実践的な取組を強化するとともに、積極的な情報発信を展開しています。

行動内容

- ・ 行動県民会議の開催、行動宣言の実践の強化
- ・ 「子どもの国づくり推進協定」の締結を通じた県民運動参加の呼びかけ
- ・ 子育て世代や次の親世代の意見を反映させた県民運動の推進
- ・ 脱少子化モデル企業の映像等によるPR
- ・ 様々なメディアを活用した情報発信

ベビーウェーブ・アクションとは…

知事を会長とし、行政、経済界、マスコミや子育て支援団体などの64団体で構成され、それぞれの立場から少子化克服のための活動に取り組んでいます。

また、「あきたの脱少子化県民運動」の通称でもあります。

「ベビーウェーブ・アクション」行動宣言

行動県民会議では、平成25年度に、県民会議としての今後の一体的な活動について協議を進め、「行動宣言」を策定しました。

この行動宣言により、会員自らが少子化克服に向けて具体的に取り組んでいくとともに、実践的な取組を県内に普及拡大させていくこととしています。



宣言内容

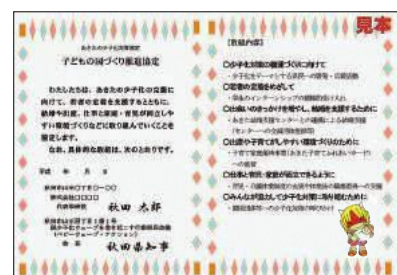
- 1. 県民運動の拡大・PR**
秋田で暮らすこと、結婚、出産子育てにプラスのイメージを持てるよう、ベビーウェーブ・アクションの活動をPRします。
- 2. 若者の県内定着の支援**
小・中・高校生に対するキャリア教育に協力するとともに、異業種交流会等の実施により県内企業へ就職した若者の定着を進めます。
- 3. 仕事と子育ての両立支援**
制度の周知や意識改革など各企業の実情に応じた仕事と育児・家庭の両立支援に取り組みます。
- 4. 出会い・結婚支援の充実強化**
あきた結婚支援センターをPRするとともに、安心して結婚できる環境づくりと出会いの場づくりを進めます。
- 5. 安心・ゆとりの子育て環境整備**
安心してゆとりを持った子育てができるよう、地域や家庭の子育て力を向上させ、子ども見守り隊や子育てサポーターなど地域における支援を拡大します。

子どもの国づくり推進協定

「子どもの国づくり推進協定」は、行動宣言の実践をはじめ、少子化克服に向けて取り組んだり、これから取り組もうとしている企業・団体等と行動県民会議が結び、社会全体で少子化対策に取り組む気運を高めていく県民運動です。

企業・団体等の取組を協定書で「見える化」して、その意気込み・姿勢を広く県民にアピールするものです。

〈協定書〉



子育て世代や次の親世代の意見を反映させた県民運動の推進

結婚、妊娠・出産、子育てに関係する様々な地域の課題について話し合うプロジェクトチームを設置し、若い世代の意見を施策やサービスに反映させる仕組みを構築していきます。



平成29年度は、横手市、五城目町にプロジェクトチームが設置され、活発な議論が展開されました。



平成29年度は、「若者の県内定着」、「出会いと結婚の促進」、「出産と子育て環境の整備」に取り組んでいる6の企業・団体等が表彰されました。

ベビーウェーブ・アクション会長表彰では、子どもの国づくり推進協定締結企業の中から、少子化克服のモデルとなるような取組を行っている企業・団体等を表彰しています。

脱少子化モデル企業

ベビーウェーブ・アクション会長表彰等の県や国の脱少子化に係る各種表彰を受賞するなど、脱少子化への取組の実践が進んでいる企業等を「脱少子化モデル企業」として広くPRし、他の模範となっていくことで、県内企業における実践の拡大を図っています。

また、地元企業への理解を深めてもらうため、高校等の教員や生徒に向けて、モデル企業のPRを行っています。仕事と家庭の両立、企業が行う少子化対策などの取組内容のほか、代表者の熱意や職場の雰囲気などを伝えていきます。



※企業の取組については、ウェブサイト『ベビーウェーブ・アクション』で動画も紹介しています。

平成29年度に「脱少子化モデル企業」となった企業・団体です。

- 鹿角森林組合
- 医療法人杏仁会
- 社会福祉法人秋田県民生協会
- 万六建設株式会社
- 能代電設工業株式会社
- 株式会社BaseLine
- 株式会社加藤建設
- 秋田エプソン株式会社
- 一般社団法人秋田県総合公社
- 高茂合名会社
- 国立大学法人秋田大学

ウェブサイト等による情報発信



少子化対策総合ウェブサイト

秋田県少子化対策総合ウェブサイト『ベビーウェーブ・アクション』では、県民運動に積極的に参加している企業・団体の取組や県の事業を紹介しています。

Facebookページによる情報発信やメルマガ配信もしていますので、ぜひご覧ください。

秋田県少子化対策総合ウェブサイト
『ベビーウェーブ・アクション』はこちら →



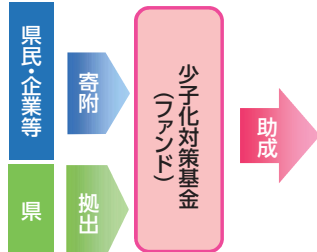
『ベビーウェーブ・アクション』
Facebookはこちら →



社会全体で子育ての安心を支える仕組みづくり

少子化対策応援ファンド助成事業

少子化対策は、未来をつくる取組です。「少子化対策応援ファンド」は、県、県民、企業等が一体となって造成した基金(ファンド)から、民間団体等が行う少子化対策の取組に助成するもの。応援したり、応援されたり。個人でも、団体でも、自分に合った参加ができます。



民間団体の少子化対策に関する取組



子ども・子育て支援に関する事業



その他、秋田県の少子化対策として効果が期待できる事業

自ら少子化対策に取り組む方

これまで、NPOや民間団体などが行う少子化克服のための様々な取組に助成しています。

〈取組紹介〉

少子化対策のための親支援講座 Nobody's Perfect (NPO法人いきいきFネット秋田／秋田市)

「完璧な親なんていない」という考えのもと、グループワークを通じて親同士が子育てに対する不安や負担感を共有し、お互いに認め合い、前向きに子育てができるようにしていくための連続講座を開催しました。



おおだて:ハッピー子育てプロジェクト (アミュージングサポート『あ☆そ☆ぶ』／大館市)

充実した子育てとは何かを探り、家庭や子育てに希望を持てる地域を目指し、社会全体への理解と広がりを目指したフォーラムを開催しました。

チャイルド未来サポート事業 (NPO法人秋田たすけあいネットあゆむ／秋田市)

生活困窮世帯の子どもたちに対して、無償の学習室やパソコン教室などを開設するほか、フードバンクを活用した食糧支援を実施しました。



県民が行う少子化対策の取組を応援したい方

「少子化対策応援ファンド協賛定期」へ預金したり、「募金箱」募金などにより「少子化対策応援ファンド」へ寄附することで、少子化対策に応援参加することができます。

定期預金で少子化を克服!

少子化対策応援ファンド協賛定期に預金を行うと、金融機関の負担で、預金残高に応じた額が秋田県少子化対策基金へ寄附されます。基金からは、民間団体等が行う少子化対策の取組に対して助成を行います。

サポーターパスポートをプレゼント!

協賛定期預金をされた方にプレゼントしています。男鹿水族館GAOやクアドームザ・ブーンなど、様々な施設で優待サービスが受けられます。



※取扱金融機関およびサポーターパスポート優待利用施設の詳細は、ウェブサイト『ベビーウェーブ・アクション』ファンド協賛定期預金・サポーターパスポートのページからご確認ください。

学び考える機会の充実

結婚や出産、家庭について、次の親世代となる高校生から社会人まで、それぞれの世代別に学び考える機会の充実を図っているほか、ポジティブイメージの醸成に向けた情報発信を行っています。

次の親世代に向けた普及啓発

高校生向け家庭科副読本

高校生に本県の少子化の現状や課題について認識を深めてもらうとともに、家庭を築くことや結婚、秋田での生活などについての自然な意識形成を図ることを目的に、家庭科副読本「考えようライフプランと地域の未来」を授業で活用しています。

本県の少子化の現状や課題のほか、秋田の産業、結婚事情、子育て環境、秋田で働くことなどについて、理解を深めながら、自分のライフプランを考える内容となっています。



秋田大好き！魅力深掘り促進事業＜AKITAライフサークル＞

秋田の魅力を知り、県内就職・定着を意識し考えてもらうため、大学生や短大生を対象に、秋田での生活や就職の現況を学び、「秋田で働く・暮らす」ことについて考えるセミナー、県内企業見学と先輩社会人や同年代の学生と交流ができるツアーを開催しました。

秋田で起業した経営者の話や秋田と他県との違い、インターンシップ、就職活動の方法など、就職に役立つ盛りだくさんの内容となり、また、実際に働く様子を見学し、会社の雰囲気を知ってもらい、秋田の魅力を考えるワークショップも行いました。

「AKITAライフミーティング」(県内企業見学バスツアー) 企業見学に加え、県内で働く社会人の方々に秋田で働き、生活する上での本音やアドバイスをお話いただきました。



平成30年度は、秋田の魅力や企業情報などを伝え、学生が感じる「秋田で働く・暮らす」ことへの疑問や不安を解消し、将来のライフプランを考えてもらい、県内就職・定着につながる取組を行っています。

